

フードロスとは?

売れ残りや食べ残し、期限切れ食品など、<mark>本来は食べることができた</mark>はず の食品が廃棄されること。



1年間の食品ロスは 約612万トン (日本)

東京ドーム約5杯分

国民1人あたりに換算すると、 毎日 <mark>お茶碗1杯分</mark>の食料を捨てていることになる



参照:農林水産省HP

https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2010/spe1_01.html

世界のフードスロスの現状は?





東京ドーム約1062杯分

世界では毎年

食べ物に例えると、、、 ハンバーガー 1個 100gを 1300万個捨てている



東京都民 ほぼ全員に1個供給できるほどの量になるのだ

参照:農林水產省HP https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2010/spe1 01.html

SDGsとの関係は?



世界では 6人に1人 の子どもたちが (3億5600万人)

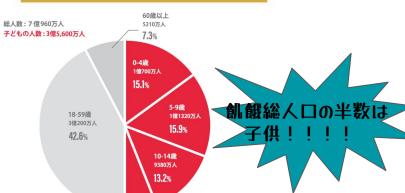
<mark>「極度に貧しい」</mark>暮らしをしている

※1日あたりに使えるお金が(食事、水、電気、住むところや着るもの、くすりなどすべて合わせて)1.25米ドル(約135円)未満で生活しなければならない状態

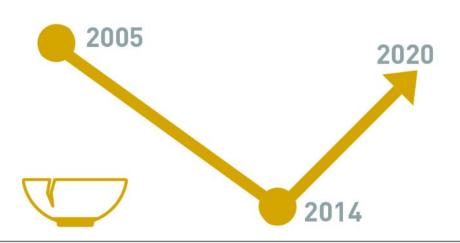


参照:公益財団法人 日本ユニセフ協会HP https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/1-poverty/

2 飢餓をゼロに **くくく**



世界の飢餓人口は増加に転じている



飢餓人口(十分な食料が手に入らず、栄養不良になっている人びとの数)は、長く減少を続けていましたが、最近になって、再び増加に転じています。飢餓人口は2005年の8億550万人から、2014年には5億7160万人まで減少しましたが、その後はゆっくりと増加する傾向にあり、2019年の時点では、6億1800万人となりました。

また、2020年は新型コロナウイルスの世界的な流行の影響により、飢餓人口は2019年と比べて1億人以上増え、 億2170万人に達しました。今後さらに増えることが心配されています。

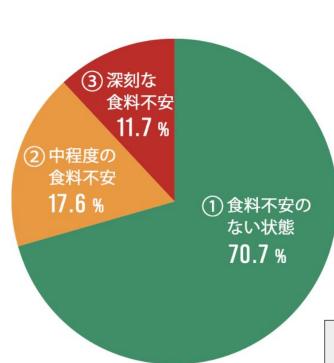
世界の人口は増え続けていて、今現在 80億人を突破している

→より多くの食べ物が必要になり、飢餓に苦しむ人が多くなる

日本ユニセフ協会HP https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/2-hunger/

この問題を解決するためには?

食料不安をかかえるひとの割合(2021年)



日本に住む多くの人は①に属しているでしょう しかし、③のように 深刻な食料不安を抱えている人が世界には約1割います

フードロスは、<mark>本来まだ食べれたはずの食料を捨て無駄にしてしまうこと</mark>です →日本は食べ物が豊富でスーパーや飲食店に行っても様々な料理を選ぶこと ができますが、たまに残してしまうことはありませんか?

毎日何万もの食べ物が廃棄されてる中、私達ができることは

- ①食べ物を残さない
- ②予め食べる量を決めておく
- ③地域の食材で料理を作ってみる

自分で料理を作ってみると出来上がりがどんなに不味くても、作るときに生じた時間や労力が身にしみるので、最後まで食べきることができます